

事前評価報告書

令和6年10月3日（木）

研究種別	総理研課題	
研究課題名	「夢桃香」等モモの果肉の赤色化機構解明と制御	
研究期間	令和7年度 ～ 令和9年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	3.6
2	研究内容の新規性	3.6
3	研究目標、研究計画の妥当性	3.4
4	研究体制、研究予算の妥当性	3.0
	総合評点	3.4
[評価所見] ○市場ニーズを踏まえており、赤色化がコントロールされることで市場拡大が期待でき、必要性の高い研究である。 ○軟化が緩やかな硬肉モモ品種は少ないことから、山梨の新たな特産になることが期待できる。 ○県育成品種であり、品種の特性である食味、日持ち性を活かし、さらなる普及拡大を目指してほしい。 ○赤色化のメカニズムが明確になれば、研究目的が達成できると予想される。 ○研究目的が明確であり、樹上・収穫後の様々なタイミングで、植物生理・遺伝子解析等の様々な手法を用いて解析することから、新規性が高く、合理的な研究計画である。 ○予算、研究体制については、共同研究費が全体の半分を占めていることが気になるが、本研究の課題解決には、それらの経費が不可欠であることから妥当と考えられる。		